

『インタビューの仕方とまとめ方の初歩(半構造化面接の場合)』

事前申込制です

⊕ **日時**:2011年9月23日金曜日(祝)10:00~16:30

⊕ **場所**:安田女子大学9号館5階 9521教室

広島市安佐南区安東6丁目13番1号 TEL:(082)878-8111

広島市中心部からアストラムラインで約20分・アストラムライン「安東駅」から徒歩約4分。

地図URL <http://www.yasuda-u.ac.jp/top/campus/campusmap/index.html>

⊕ **教科書**:能智正博著 2011『質的研究法』東京大学出版会(2,500円+税) 7~10章を利用

⊕ **講師**:榎田 美雄氏(A班支援者)

徳島大学准教授、日本質的心理学会研究交流委員会委員長(常任理事)

業績:D.メイナード著榎田・岡田訳 2004『医療現場の会話分析』勁草書房

助手1:中島 慶子氏(B班支援者)

安田女子大学大学院文学研究科教育学専攻 臨床心理学コース

関心分野:発達障害のある子どもへの支援

助手2:淀瀬 麻未氏(C班支援者)

安田女子大学大学院文学研究科教育学専攻 臨床心理学コース

関心分野:喪失体験の語り

⊕ **事前配布物**:第二グループワーク用課題(インタビューガイドの作り方メモ)ほか

⊕ **登録料**:日本質的心理学会会員2,000円(登録と学会入会を同時にすることも可)

学会入会は、右記サイトで行って下さい(<http://www.soc.nii.ac.jp/jaqp/annai.html>)

学会会費とセミナー登録料の振込先は異なりますので、ご注意ください。

非会員4,000円

入金は、電子メールでの申し込み後、4日以内をお願いします。

⊕ **定員**:18名(7月末まで申し込みを受け付けます。定員超過時は、志望理由等で選抜します)

申し込み電子メールアドレス等のセミナーの詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/yasuda/pre-program.html>

〔京都セミナーのご案内〕「トランスクリプトづくりの実際と会話分析の初歩(初級者向け)」

開催日時:2011年10月22日10:00~16:30 場所:京都大学稲森財団記念館

講師:川島 理恵氏(東京医科大学兼任助教,日本EMCA研前世話人,PhD)

セミナーHP http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/social/kasida/presentation/111022_seminar2.htm

【9月23日セミナースケジュール】

9:45 受付開始(班分けした名簿の配布)

10:00 - 11:00 第一講義 インタビュー方法の概説
(機材の準備から、インタビューガイドづくりまで = ICレコーダー活用 =。1 分間スピーチの実践もおこないます。)

休憩(10分)

11:10 - 11:50 模擬インタビューと質疑(登壇者1名の立候補を募ります)

11:50 - 12:30 第一グループワーク(6人ずつ3班)。午後にその発表と講評

インタビューイヤーは、櫻田。全部をビデオでも撮影。

インタビュー題は、「母の入院から学んだこと」(仮)

模擬インタビューワーへの批評とキーワード探索が、グループワークの課題

午後までに、書記役のメモとインタビューワーのメモをナンバリングした後で、21部(登録者 + 支援者)コピーを配布。



各班のまとめも13:00までに回収し、21部コピーして配布。

昼食(60分)・・・お弁当持参を推奨。教室をラウンジ化し対話の継続を図る。
各自第二題目のインタビューガイドの修正につとめる。

13:30 - 14:00 第二講義 インタビューからデータ分析へ(キーワードの抽出から、一人称一人語りでのまとめまで)

休憩(10分)

14:10 - 14:40 第一グループワークの発表(3つの班で各5分発表5分質疑)

14:40 - 16:10 第二グループワーク(25分の実践 + 5分の講評を3セット)

「インタビューの研究法セミナーを受講しようと思った理由」を題に、3人ずつ6チームに分かれてインタビュー。聞き役、聞かれ役、書記役を交代しつつ全部経験する。ICレコーダー6台貸与。サポートスタッフは、講評に参加。さらに、事後課題用に録音されたMP3データを、まとめて、ファイル名を付け直して、CDに焼いて渡す。

16:10 - 16:20 総括討論とまとめ

16:20 - 16:30 事後課題(オプション)の説明(修了証希望者は、事後課題の提出必須)